

令和元年度 研究成果報告会

日時 2020年9月14日月
13時00分～16時20分

参加費無料

要申込

開催形式

Webex Eventsを使用したオンラインによるライブ配信
※質疑応答はシステムのチャットを使用します。



▶ Report1 13:05～13:35

「地域活性化に求められる地方公立大学の役割に
関する実証的調査研究 一人材開発の視点から」
俞 成華



▶ Report2 13:35～14:05

「環大経営学部がやるしかない!! 一鳥取における
鳥取のための産官学連携 シカ肉によるPBL教育」
竹内 由佳



▶ Report3 14:05～14:35

「鳥取県産農水産物のブランド化を支援する
化学分析データ解析手法の高度化」
山本 敦史



▶ Report4 14:35～15:05

「鳥取県東部大谷海岸における
2019年春季から秋季の藻場の現状」
太田 太郎



▶ Report5 15:15～15:45

「大山地域における送粉昆虫の多様性と
植物の交配様式の関係」
笠木 哲也



▶ Report6 15:45～16:15

「焼却施設における水銀物質フロー
推計モデルの精度向上と排出削減への応用」
門木 秀幸



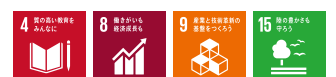
▶ Report7 ※足利先生の発表については事前収録をし、後日配信予定

「星空観察スポットの地域特性を活かした
大気及び光害環境の教材化」
足利 裕人

※報告の順番・タイトルは変更になることがあります

麒麟の知を深く知る

「持続可能な社会に向けて」



令和元年度の研究成果報告会は、新型コロナウイルスの現況を考慮し、
ご視聴ご参加可能な形式で実施します。

発表者のご紹介

▶ Report1 俞 成華 Yu, Chenghua	経営学部 准教授 【専門】経営学(人的資源管理、国際経営、組織間関係) 鳥取県内企業・自治体に対するアンケート調査とインタビュー調査を通じて、地域活性化に求められている優れた人材像を明らかにします。また、調査から得られた結果を踏まえ、地方大学が行っている現行の人材育成(教育プログラム)を検討し、地方大学の教育現場へのインプリケーションを提示します。
▶ Report2 竹内 由佳 Takeuchi, Yuka	経営学部 講師 【専門】流通論、マーケティング論、消費者行動論 マーケティングの力で社会を変えることは可能なのでしょうか。竹内ゼミ3年生の活動「プロジェクト・ヘルシュ」を通じて、鳥取県におけるシカの獣害問題を解決+鳥取県の魅力アップ+この大学のPRという3つのことを一気に解決できるかも…そんなマーケティングのちょっと不思議な側面を紹介します。
▶ Report3 山本 敦史 Yamamoto, Atsushi	環境学部 准教授 【専門】分析化学、質量分析 環境大学が県内7機関と策定した地域未来投資促進法に基づく連携支援計画「食のみやこ鳥取づくり連携支援計画」が2019年12月に承認されました。地域特性を活かした県産食材のブランド化・高付加価値化支援を進めるために、様々な食材に含まれる成分の化学分析を開始しています。どのようなデータが得られるのか、そこから何が分かり始めているのかについて紹介します。
▶ Report4 太田 太郎 Ohta, Taro	環境学部 准教授 【専門】魚類生態学、水産資源生物学、漁業制度及び漁業法令 海藻類の群落である藻場は、沿岸海域において多面的な機能を有し、生物生産の場としても極めて重要な役割を果たしていますが、海水温の上昇等の影響により、地域によっては藻場が近年衰退傾向にあるとされています。本発表では2019年に実施した鳥取県岩美郡岩美町の大谷海岸における藻場の現状把握調査の結果を報告します。
▶ Report5 笠木 哲也 Kasagi, Tetsuya	環境学部 准教授 【専門】植物生態学、送粉生態学、ハナバチ類 大山は、さまざまな生物が相互作用しながら進化してきた様子が見られる、とても貴重な自然環境です。植物は花粉を運ぶ昆虫の行動によって花の形態を進化させます。大山山麓の森林ではウリノキ(ミズキ科)という低木が、雄しべと雌しべを花の外に長く突き出させた面白い形の花を咲かせます。本研究では、マルハナバチという花粉媒介昆虫がウリノキの花の形態進化にどのように関わっているのか検討しました。
▶ Report6 門木 秀幸 Mongi, Hideyuki	環境学部 講師 【専門】環境分析、廃棄物・リサイクル工学 私たちの生活の中には様々な有害物質が使用されています。その物質の流れ(フロー)を捉えることは環境への負荷を削減していく上で重要となります。本研究では生活ごみに含まれる水銀に着目し、焼却処理における水銀のフローについて調査しました。
▶ Report7 足利 裕人 Ashikaga, Hiroto	環境学部 特任教授 【専門】理科教育、情報教育、物理学 都市の光害は夜空を照らし、天の川や星雲等を隠し、エネルギーの無駄遣いや生態系への悪影響をもたらします。良好な大気環境や美しい星空を地域資源として活用し、持続可能な大気環境を維持することは、市民のSDGs意識の向上に寄与します。本研究では、高度や地勢の異なる鳥取市の数地点を選択し、PM2.5の濃度、気温、湿度を参考にしつつ、スカイクオリティメーターによる空の暗さを測定し、夜空の透明度の予測を試みました。

《オンラインによるライブ配信への申込方法》

①氏名 ②連絡先(電話番号とEメール) ③勤務先の業種名を電話もしくは電子メールで
下記の申込先へご連絡ください。参加決定者には追って参加用URL等をご案内します。

※オンラインによるライブ配信は、Webex Eventsのシステムを使用します。

※必要な物: インターネット環境、Webカメラ付PCまたはモバイル端末、(あれば)ヘッドセット

【お問合せ・申込先】 公立鳥取環境大学 サステナビリティ研究所
地域イノベーション研究センター



〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号 TEL:0857-32-9100 E-mail: event@kankyo-u.ac.jp